

地下水モニタリングの状況について

1. 地下水モニタリングの結果概要

ジフェニルアルシン酸（DPAA）の分析は季節ごとに行っている。

これまでの DPAA の分析結果について、掘削調査地点周辺、A 井戸周辺、B 地区、AB トラックを含む広域の範囲ごとに、概要を図 1～4 として示す。

なお、『汚染メカニズム中間報告書』公表以後、以下のとおり新たなモニタリング孔の設置等を行っている。

掘削調査地点周辺（図 1）

掘削調査地点（矢板）内では、付近地盤の透水性を確認するため揚水試験を実施したとともに、コンクリート様の塊直下の地下水中の DPAA 濃度を把握するため、F-1～F-12 のモニタリング孔を設置した。

A 井戸周辺（図 2）

A 井戸周辺の地盤の透水性を把握するために設置した深度 30m の揚水孔（B-1 井戸）では、揚水試験時に恒常的に数十 mg/L（ヒ素換算値）を越える DPAA が確認されたことから、平成 18 年夏季以降、モニタリング孔として追加した。

B 地区周辺（図 3）

B 地区では、付近地盤の透水性を確認するため揚水試験を実施した。

AB トラック南西地域（図 4）

AB トラック南西地域では、既設のモニタリング孔で DPAA 等による新たな地下水汚染が確認されたため、平成 16 年度国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会（第 4 回）資料 5 に基づき、付近の井戸を対象とした抜き取り調査を実施するとともに、追加モニタリング孔として、平成 17 年 6～7 月に M-18～M-23 を、平成 18 年 2～3 月に M-24～M-29 をそれぞれ設置した。また、M-20 の付近地盤の透水性を確認するため揚水試験を実施した。

図1 DPAA濃度変化 掘削調査地点周辺（単位：ppb ヒ素換算値）

地図の値は2006年夏季の10mの値を表す

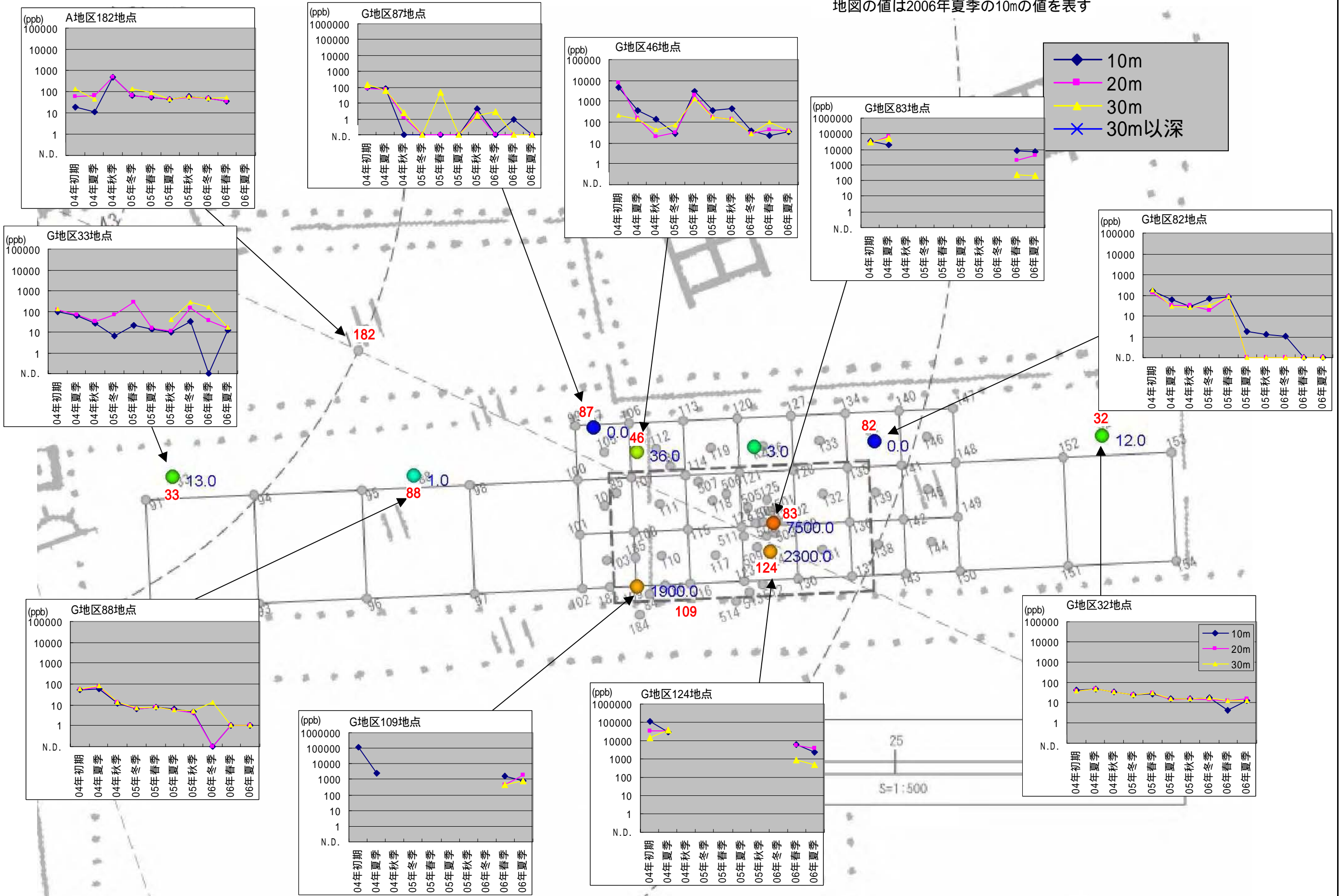


图2 DPAA浓度变化 A井戸周辺 (单位: ppb 匕素換算値)

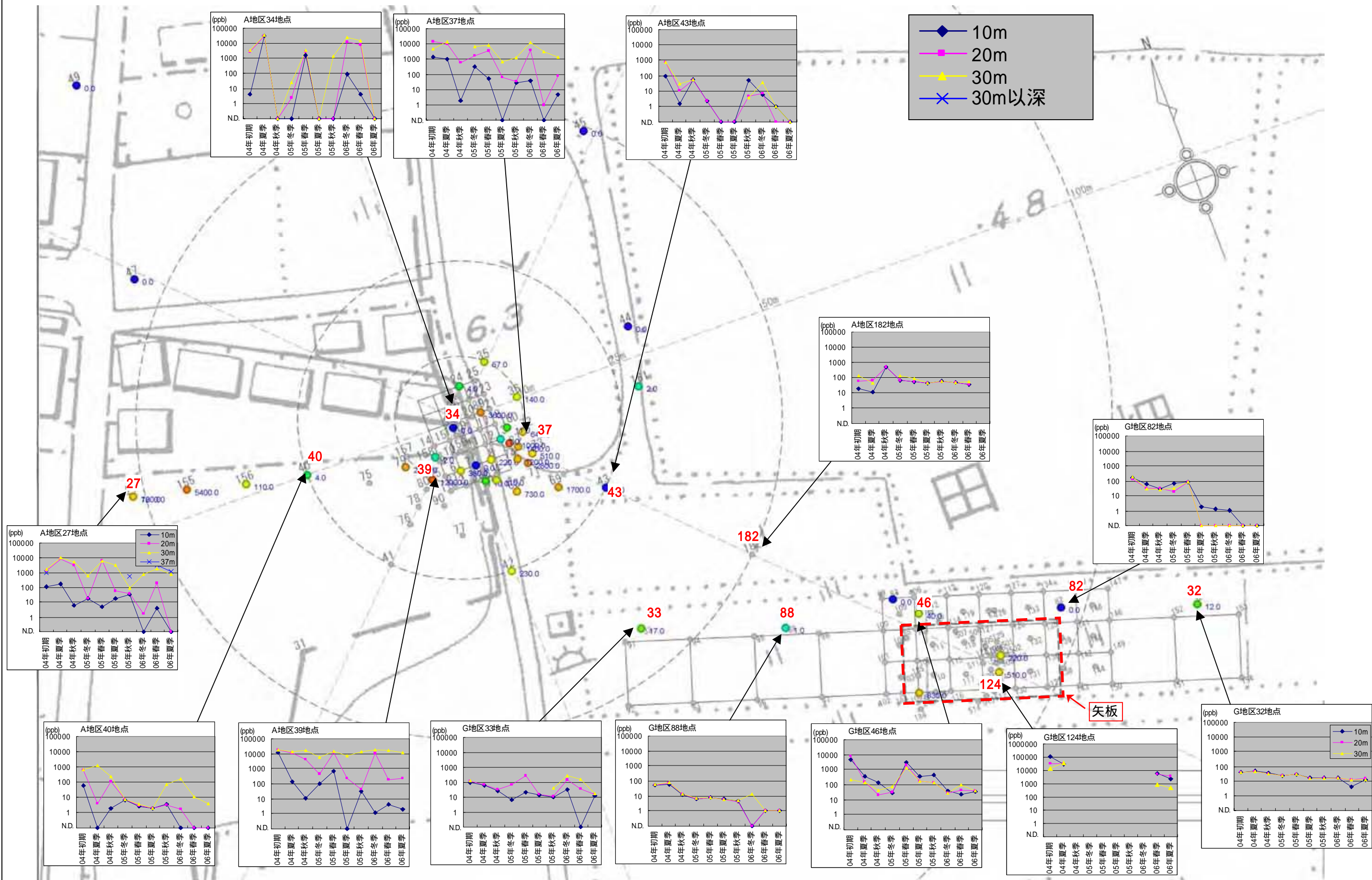


图3 DPAA浓度变化 B地区 (单位: ppb 七素换算值)

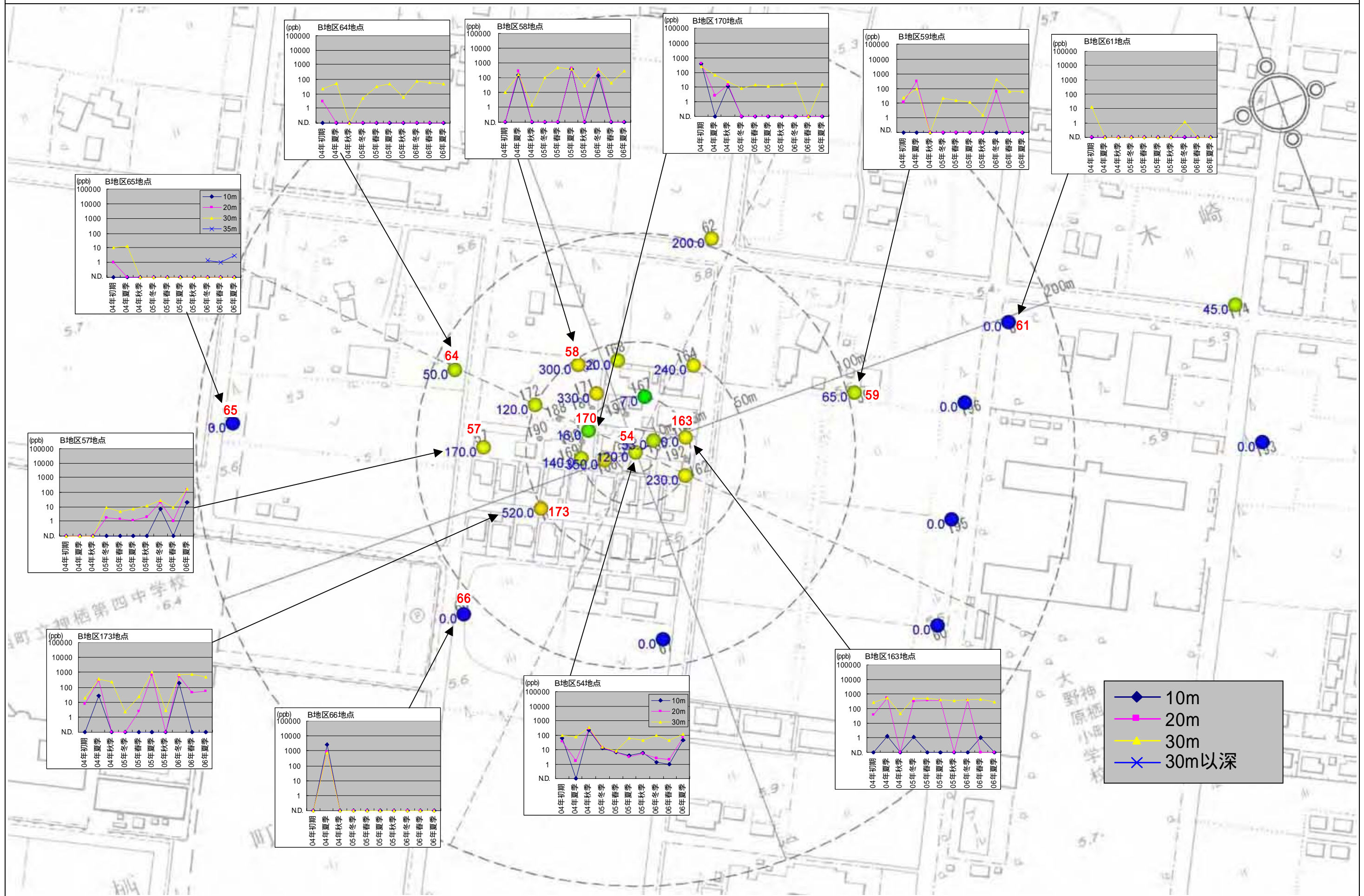


図4 DPAA濃度変化 (単位: ppb 七素換算値)

